

# ①-1 市民公益活動入門講座

## 第1回:NPOマネジメント実践講座

日時：第1回目 平成27年8月29日（土）  
第2回目 平成27年9月13日（日）  
第3回目 平成27年9月26日（土）  
第4回目 平成28年1月16日（土）  
各回 午後1時～午後4時

参加団体数：6団体（満足度92%）

講師：川中大輔さん（NPO法人 シチズンシップ共育企画代表）

形態：ワークショップ及び講義

### ◆内容

#### 【目的】

本講座では単発のテクニックには焦点を当てず、団体の課題意識や環境の分析、ターゲット設定などを経て計画を立案し、それを実践して評価を得るPDCAサイクルをまわすことに主眼を置いている。改めて組織の現状を見つめ直し、問題の解決策を組み立て、実践と振り返りの機会を持つことが、団体のミッション実現に役立つことを目的とする。

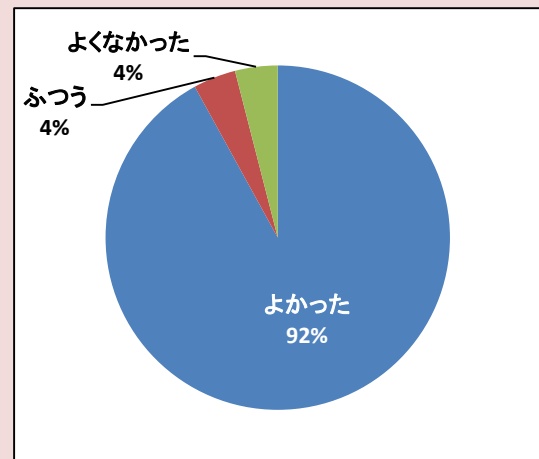
#### 【概要】

第1回から第3回までは総合的なマネジメントを実施するために必要な知識や技術についての講義を経た後、立案した計画を実行してもらい、最後の第4回目に、その経過や結末を発表してもらい、講師や参加団体からの評価を得る。

### ◆参加者の声(アンケートより一部抜粋)

- ・課題をあぶり出す手法、視点のきりかえ、こんな活動をしている団体なのか知れたこと。
- ・グループワーク。これのおかげでとても良い話し合いができた。
- ・他のグループメンバーからアドバイスをもらえたこと。
- ・課題解決手法 特に行き詰まったとき他の団体からのアドバイスが良かった。
- ・川中講師の説明が具体的で「なるほど」と思うことの連続であり、来るのが毎回楽しみであった。

【集計(満足度)】



【会場の様子】



# ①—2 市民公益活動入門講座

## 第2回：デジタルカメラを使って動画を撮影＆公開しよう！

日時：第1回目 平成28年3月 5日（土）  
第2回目 平成28年3月12日（土）  
第3回目 平成28年3月13日（日）  
各回 午前10時～午後4時

参加団体数：7団体（満足度100%）

講師：当センターボランティアコーディネーター

形態：実技及び講義

### ◆内容

#### 【目的】

身近なデジタルカメラで撮影した動画を活用して、インターネットで団体の情報や活動を発信できる技術の基礎を身につける。

#### 【概要】

第1回：基本的なカメラの操作方法から魅力的な映像を撮るコツまで、動画撮影の基礎的な力をつける。

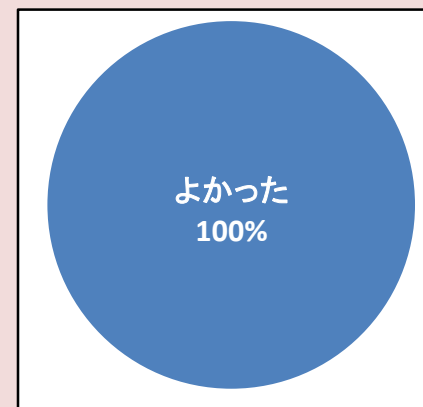
第2回：実習としてPR映像作品を制作

第3回：前日に撮影した動画データを動画投稿サイトへアップロードする方法を学ぶ。

### ◆参加者の声(アンケートより一部抜粋)

- ・撮影動画に対する講師のコメントが大いに勉強になった。
- ・これから継続して練習する意欲がわいた。
- ・まずは自分の教室のPR動画として、先々は奈良の観光活性化のために活かしていきたい。
- ・今後、編集の講座も開催してほしい。
- ・動画セミナーとして、基礎→中級→実践→上級コース→応用編の開催希望

【集計(満足度)】



【会場の様子】



## ② ボランティア入門講座

日 時：毎月第4土曜日  
午前10時～正午、午後1時30分～午後3時30分  
参加者：合計114名  
満足度：86%  
講 師：当センターボランティアコーディネーター  
形 態：講義及び事例報告

### ◆内容

#### 【目的】

ボランティア初心者または未経験者が、本講座を通してボランティア活動に必要な基礎的知識及び情報を習得することで、ボランティア活動をより身近なものとして理解し、今後のボランティア活動のきっかけとしてもらう。

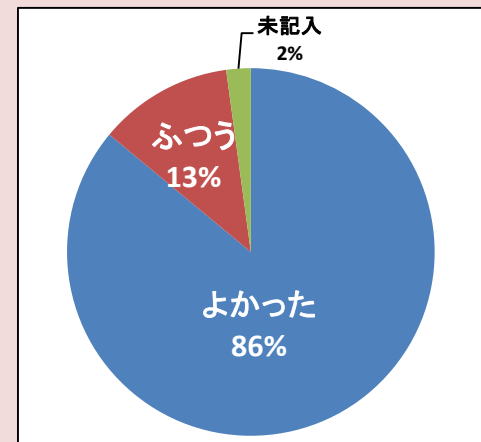
#### 【概要】

前半にガイダンスを行い、ボランティアの心構えなどを分かりやすく解説した後、実際に活動している団体や個人の事例報告、対談を行った。後半のフリートークでは当センターのボランティアコーディネーターも交えて参加者同士が思いや考えを共有でき、市民公益活動への思いを高めることができた。また、終了後には参加者からの相談もあり、市民公益活動へのすそ野を広げることができた。

### ◆参加者の声(アンケートより一部抜粋)

- ・ボランティア活動に気持ちが入った。ただまだどんなことがしたいか、気持ちの整理がつかない。
- ・豊かな生活のためにボランティアをするということが大切だと思う。豊かな生活の人が、そうでない人に手助けをすることがボランティアではなく(それもありませんが)皆が豊かな生活のためにしたいことをする。
- ・勉強になりました。世代の違う方とお話ができて楽しかったです。
- ・これまでの人生をふり返って見たときに、社会に貢献するという視点が欠けていたように思うので、今後の課題にしたいと考えました。

【集計(満足度)】



【会場の様子】



# ③NPO団体とボランティア団体パネル展

日程：平成27年5月16日（土）～平成28年3月5日（土）

出展団体数：79団体

形態：団体の活動紹介のパネル展示

## ◆内容

### 【目的】

市民に対して団体がより効果的に活動をPRできる機会を創出することで、団体同士あるいは団体と市民とが交流を深め、かつボランティアや市民公益活動について広く理解していただくきっかけとすることを目的とする。

### 【概要】

各団体が4週間ごとに入れ替わりながら、日頃の活動を紹介するパネルを展示する形で実施した。同時にセンターについて紹介するパネルも展示し、当センターのPRに努めた。

また、出展団体同士が、互いに展示内容について感想を述べ合い、今まで気付かなかった点など交流によって活動の充実を図る「井戸端サロン」をパネル展最終日の3月5日に開催した。

## ◆出展団体の声(アンケートより一部抜粋)

- ・ボランティア団体の数が多いことがわかった。今まで知らなかったので……情報を得る機会に良いですね。
- ・ボランティアインフォメーションセンターが様々な企画立案をされ有難く思っています。ただ一般の方々がどれくらい行事のためにわざわざ来館されるのか。もっとPR(今も随分されていますが)が必要かと感じます。
- ・今年は初年度で手さぐりの出展でしたが、来年はもっと思考をこらして、ぜひ出展したいです。
- ・展示を見てくださった方の声を、展示グループにも知らせてもらえると嬉しいですね。ありがとうございました。
- ・発表の拠点があるのはありがたい。職員の方々もご理解を深めてくださっていることがよくわかった。
- ・また機会がありましたら是非参加したいです。昨年の井戸端サロン(ワールドカフェ形式のもの)も楽しみにしておりますので、是非企画して下さい。

## ◆来場者の声(アンケートより一部抜粋)

- ・学校からいつもよくもらってくるチラシは、この団体だったのだなあと知ることができた。
- ・毎回とてもバラエティで楽しいです。
- ・いろんなことをしているなと思った。
- ・奈良市にも色々な団体やボランティアがある事が解かった。
- ・具体的にどちらかの団体に参加したいという気持ちは少ないのですが、このような団体活動があることをはじめて知りました。

## 【会場の様子】





# ④HUG<sub>2</sub> (はぐはぐ) 祭り

日時：平成27年11月15日（日）午前10時～午後3時  
出展・出演団体数：39団体（出展32団体、出演7団体）  
形態：団体のステージ発表、物品販売及び活動紹介ブース、キッズコーナー、パソコン相談会コーナーなど

## ◆内容

### 【目的】

奈良市内を中心に活動する団体や地域自治組織などの市民公益活動団体の活動をより効果的にPRできる場や、団体同士が課題を共有して次の活動へつなげる場を創出する。そのことで、団体同士や、団体と市民とが交流を深め、かつボランティアや市民公益活動について広く市民に理解をいただき、市民公益活動の活性化をめざす。

### 【概要】

#### (1)祭り開催に伴うサポーター団体を募集「サポーターズ会議」の開催

①5月より第1回目のサポーターズ会議を開催（祭りまで月に1回開催）

②企画の段階から協働による市民や活動団体目線での祭りの開催

※祭り当日並びに準備から参加団体からもスタッフとしての協力を条件に募集をおこなう。

また、管理、運営及び進行も団体と当センターとの協働で行った。

#### (2)市民ボランティアをしみんだより等で募集

#### (3)奈良市ポイント制度を活用したスタンプラリーを実施

## ◆出展団体の声(アンケートより一部抜粋)

### ■出展ブースについて

- ・今回子供向けに木で工作をしてもらったイベントをしたところ、予想より多くの方に来て頂き、当協会のPRができました。スタンプラリーもすごく良かったです。昨年に比べ来場者とコミュニケーションがいっぱいとれました。
- ・多くの団体のことを知ることができました。いろんな活動があって興味をもちました。

## ◆出展団体の声(アンケートより一部抜粋)

### ■相談及び体験について

- ・スタンプラリーのおかげで、たくさんの方がブースに来て、活気があった。普通なら立寄らないブース(失礼)でも、立ち寄る機会ができて良かった。
- ・聞いてくれる人は少なかったですが(30人程度)各回喜んでくれたので来年も参加したいと思う。
- ・ブースは30㎡くらいほしい。ポイント制には？

### 【会場の様子】



# ⑤親子ボランティア入門講座

日時：平成27年6月28日（日） 平成27年12月5日（土）  
午前10時30分～正午 午前10時～正午  
参加者：親1名、こども2名 親3名 子ども2名  
満足度：100%  
講師：当センターボランティアコーディネーター  
形態：講義及びボランティア体験先の紹介

## ◆内容

### 【目的】

保護者と児童(小学生以上)を対象として、親子で気軽に楽しくボランティア活動に親んでいただくための「きっかけづくり」を促進するため、開催。また、ボランティアに関する基本的な知識や考え方を学ぶと同時に、親子で体験できる市内のボランティア活動を具体的に紹介することで、参加者がスムーズに「学習→実践」へとステップアップできるよう促す。

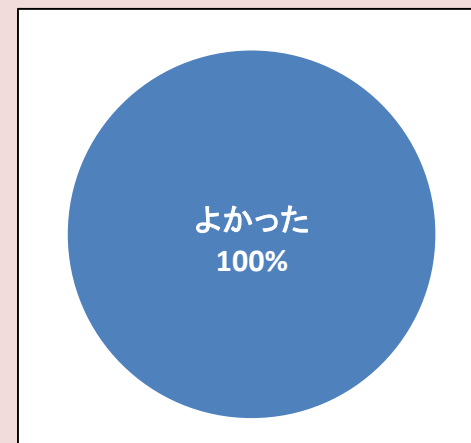
### 【概要】

- ・ボランティアについての基本的な知識や考え方を、クイズ形式なども取り入れて、楽しく学ぶ。
- ・親子で気軽に楽しく参加できるボランティア体験先4団体の活動紹介と、ボランティア体験の開催日時等を知らせる。
- ・ボランティア活動中の事故や怪我の可能性を認識していただき、万が一の場合に備えて、ボランティア活動保険を紹介する。

## ◆参加者の声(アンケートより一部抜粋)

- ・大人用のものにしようかと思いましたが、やはりまだ中学生なので子供用の説明で丁度良かった(ていねいで分かりやすい)と思います。(親)
- ・小人のめんどうをみるかかきや、いっしょになにかすることがしたい。(子ども)
- ・子供に他人のために行動することを身近に感じてもらえたらと思いました。(親)
- ・また色々なボランティアに参加したいです。(子ども)
- ・意外と身近なときにボランティアがあるんだなと思いました。(親)

【集計(満足度)】



【会場の様子】



# ⑥絵本補修ボランティア養成講座

日 時：平成27年5月12日（火）

第1回 午前9時30分～11時30分、第2回 午後1時～午後3時

参加者：第1回目 19名 第2回目11名 合計30名

満足度：97%

講 師：角井 摂 さん（奈良市教育支援課 学校図書センター嘱託職員）

形 態：講義及び実習

## ◆内 容

### 【目 的】

・各家庭の不要となった絵本を回収・修復し、必要とされるところへ届けるリサイクルシステムを確立するため、補修技術を持ったボランティアを養成。講座終了後、習得した補修技術をそれぞれの地域の学校図書室、公民館図書室等でのボランティア活動に活かしてもらおう。

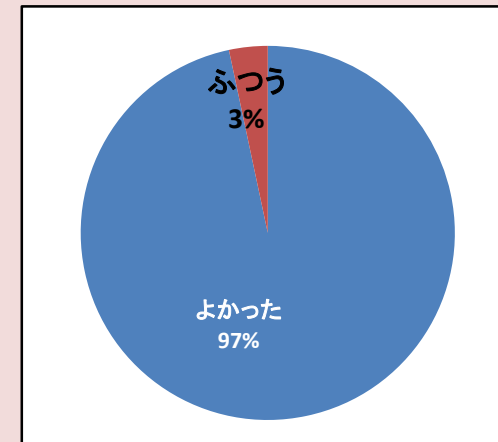
### 【概 要】

- ・前半は本の仕組みの説明、傷み方によるいろいろな補修方法の説明、補修作業の実習
- ・後半は、ブックカバーのかけ方を中心に説明し、ブックカバーの実習を行なう。

## ◆参加者の声(アンケートより一部抜粋)

- ・今日は「基本のき」だったので、第2回、3回とさらに技術を上げられるような講座もしてほしい。
- ・小学校の図書館ボランティアとして、できればいいなと思いました。
- ・作業をしていると時間がすぎすぎて、もう少し修理の詳しい方法を教えてもらいたいと思います。
- ・ページがはずれた所や背表紙の補修などもやってみたいので、半日ではなく1日の講座をしていただければうれしいです。
- ・続けて、いろいろな修理方法の講習をして頂けるとありがたいです。
- ・ブックカバーの実習とても楽しかったです。又、公民館の本をきれいにいたします。

【集計(満足度)】



【会場の様子】



# ⑦折り紙ボランティア養成講座

日時：平成27年7月11日（土）午後2時～午後4時  
平成27年8月30日（日）午後2時～午後4時  
平成28年1月24日（日）午前10時～正午  
平成28年1月24日（日）午後2時～午後4時  
参加者：7月11日 28名・8月30日 19名  
1月24日 午前21名・午後29名 合計97名

満足度：89%

講師：当センター・コーディネーターと実技アシスタント

形態：オリエンテーション後制作、その後パネルに装飾

## ◆内容

### 【目的】

- ・色んな折り紙を市民の皆さんに習得していただき、その技能を児童施設や高齢者施設などで広めていただき、テーマに即した折り紙をイベントや施設の壁面等に装飾することにより、ボランティア活動の一環として活かしてもらうことを目的とする。

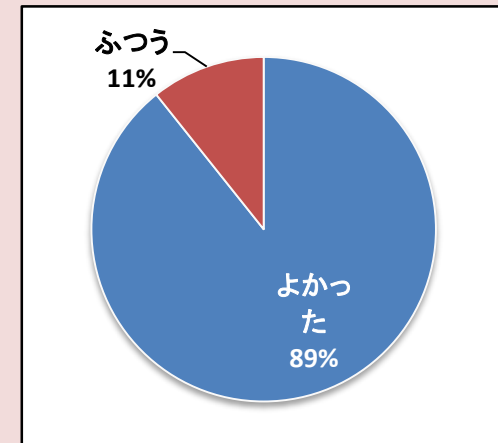
### 【概要】

- ・テーマに沿った色々な折り紙の制作
- ・出来上がった折り紙をパネルに装飾

## ◆参加者の声(アンケートより一部抜粋)

- ・グループ毎に作成した折り紙が大きなテーマ作品に出来上がって感動しました。
- ・色々な折り紙で色々な作品を折ることができて、とても楽しかったです。折り紙をボードに貼ることで、パツとはなやかな雰囲気変わったのが感動でした。
- ・楽しくて、あっという間に終わってしまいました。出来ましたら、レシピのコピーを頂きたいと思いました。
- ・ボランティアをしたことがないので、身近なところからと想って受講した。
- ・おり紙久しぶりにして楽しかった。脳の活性化に良いと思った。孫(2歳)に折ってやりたい。

【集計(満足度)】



【会場の様子】





# ⑧ー1 専門家相談会（デザイン無料相談会）

日時：第1回 平成27年11月15日（日）午前10時～午後3時  
第2回 平成27年12月 7日（月）午後 1時～午後3時  
第3回 平成27年12月 8日（火）午前11時～午後3時  
参加団体数：11月15日:4団体 12月7日:2団体 12月8日:3団体  
合計9団体  
講師：林田全弘さん（小さなNPOを応援するデザイナー）  
形態：個別対面相談

## ◆内容

### 【目的】

団体の情報発信力の向上を促進するため、専門家を招き団体に対して主に広報活動についてのアドバイスを行なうことで、円滑な団体運営に必要なスキルを習得してもらうことを目的とする。

### 【概要】

市民公益活動団体が運用しているウェブサイトやチラシ、パンフレットなどの紙媒体の改善点について個別相談に応じ、アドバイスを行う。

## ◆参加団体の声(アンケートより一部抜粋)

(どのような内容を相談しましたか)

・「チラシ」と「三つ折りのリーフレット」があるが、これをもとに「入会案内」を作りたい。多くの人に自分たちの団体を知ってもらいたい。

(どのようなアドバイスが役立ちそうだと感じましたか)

・会員にこだわらず賛同者を増やす・活動や主旨に賛同してもらえるような説明しやすい資料が必要。

(アドバイスを元に、今後どのような取り組みをしていきますか)

・先生のアドバイスを元に「信頼・共感を生み出すNPO広告物。9つのチェックポイント」を参考にして「入会案内」を作成する。

## ◆参加団体の声(アンケートより一部抜粋)

(どのような内容を相談しましたか)

・案内希望者獲得のためのチラシ作成について相談した。

(どのようなアドバイスが役立ちそうだと感じましたか)

・広告物9つのチェックポイントに基づきアドバイスをして戴き大変参考になった。特に写真の掲載やキャッチフレーズの書き方が参考になった。

(アドバイスを元に、今後どのような取り組みをしていきますか)

・新年度に向けて新しいチラシを作成したい。

## ◆参加団体の声(アンケートより一部抜粋)

(どのような内容を相談しましたか)

・チラシ、機関紙のデザインおよびホームページの立ち上げ方

(どのようなアドバイスが役立ちそうだと感じましたか)

・チラシの集客力をあげるためのチェックポイント

・ホームページについてはJimdoの紹介

(アドバイスを元に、今後どのような取り組みをしていきますか)

・チラシ作成やホームページ立ち上げ作業の中に、アドバイスを活かしていきたい。

【会場の様子】



# ⑧—2 専門家相談会（会計相談会）

日 時：平成28年2月28日（日）  
①午後1時～1時50分  
②午後2時～2時50分  
③午後3時～3時50分

参加団体：3団体

講 師：谷野芳枝さん（税理士）

形 態：個別対面相談

## ◆相談内容

- ・助成金事業の収益の計上方法
- ・謝礼の源泉徴収の扱い
- ・領収書の保管方法
- ・マイナンバーにかかる事務作業
- ・年度途中にNPO法人化したときの処理方法
- ・NPO法人の会計管理の方法

## ◆参加団体の声

- ・団体メンバー間で会計処理の方法について認識が一致していなかったが、今回相談して正しい方法を理解できた。
- ・法人化してからの会計管理のイメージを知ることができた。
- ・専門家からのアドバイスで疑問が解決した。

## ◆事業実施後の当センターのまとめ

- ・税理士から専門的知識に基づいたアドバイスをすることにより、団体が抱える会計上の課題の解決につながった相談会であった。しかし、相談後のアフターフォローが充分に行なえず、われわれコーディネーターの会計管理に係るスキルアップが求められる。
- ・今後、相談会開催の有無に関わらず、会計相談に対応できる体制を整えることが求められる。

## 【会場の様子】

